

第6回丹波市地域資源活用懇話会 議事録

1. 日 時 令和4年12月13日(火) 15時00分～16時20分
2. 場 所 春日住民センター大会議室
3. 出席者
 - 懇親会委員 (9名)
 - 1号委員 関 美絵子
 - 2号委員 竹内 真子 鴻谷 佳彦
 - 3号委員 荻野 祐一
 - 4号委員 田辺 真人 松原 慶明 大木 玲子
 - 5号委員 濱田 亮光
 - 6号委員 宇瀧 広子
 - 事務局 (7名)
4. 協議事項
 - (1) 丹波市観光・商工業振興ユニティプラン(素案)に係る協議
 - (2) その他
5. 開会
 - 事務局：定刻になりましたので、ただ今から第6回丹波市地域資源活用懇話会を始めさせていただきます。会長の挨拶をお願いします。
6. 会長あいさつ
 - ～田辺会長挨拶～
7. 協議事項
 - 田辺会長：それでは、次第に沿って協議を行ないます。
 - (1) 丹波市観光・商工業振興ユニティプラン(素案)に係る協議から説明をお願いします。
 - ～事務局から資料の説明～
 - 田辺会長：資料1に沿って考えると1番目、3番目、8番目、9番目、11番、12番、13番、14番はご意見を頂いた通りに修正頂いたという事ですが、それ以外のところで2番目の継続的に拡充すべきか、のご意見はいかがでしたでしょうか。
 - 委員：今までも継続的に農林振興課等で取り組んできて、生産量の拡大につながっていないのが気になりましたので、もう少し思い切った施策、取り組みが出来れば良いなと期待感を込めて意見を出させて頂いた。
 - 田辺会長：他にご意見はいかがですか。先ほどの説明で了承という事ですね。4番目についてはある程度の住み分けが出来て、今後のリンクの方法について検討していくという事ですから、この形でよろしいでしょうか。合わせて、

第5番目についても情報を求める人達が見やすい発信方法を検討するという事でよろしいですね。次に第7番目の誰が対象の人材育成かどうかにについては、観光事業者を対象としているという回答でよろしいですね。次は10番目、これに対してもいろいろなご意見がありましたが、今のところは「新たな観光ブランド品の発掘・開発」というところですが、各委員のみなさまはいかがですか。

委員：この中で女子高校野球の開発（P47）というのは何なのかというところですが、再来年の甲子園球場は100周年なんです。関わりもあるので、ぜひ盛り上げて欲しいと思う。もう一人丹波市のスポーツに大きく貢献した方で西川政一（にしかわ まさいち）という人物がいる。日本バレーボール協会の会長を30年間務めた方で、会社員時代に関西排球協会（現在の日本バレーボール協会のルーツ）を立ち上げた。会社に勤めながら余暇を使ってバレーボールをする。そういう人も丹波市出身。日本のスポーツ界に貢献した人が丹波市から二人も出ている。こういった方たちも取り上げて、観光振興に役立ててもらいたい。

田辺会長：この件についてご意見がある方はいらっしゃいますか。お伺いしますが、バレーボールの功労者の人が再来年頃に〇〇周年というような記念年にならないでしょうか。甲子園と合わせて、いろんな分野に貢献した人材が地域振興に役立つ場合があるので調べて頂いて、市の方でも再来年を目途に何かのプロジェクトをスタートしてもらおう。例えば西宮市などと交流しながらだと、阪神間との連携が出来ると思います。

田辺会長：阪神電鉄は地域にはとても協力的です。ぜひ進めて頂きたいと思います。阪神電鉄の創業100年の時に阪神沿線の中小博物館と連携で大きなプロジェクトを行いました。甲子園で、阪神でなら博物館も協力してくれると思います。第10項目の言葉としては「新たな観光ブランドの発掘・開発」という事ですけども、市の方では今のご意見を汲んで頂いて新しい計画を考えて頂きたいと思います。最後は15番目の民間の中間業者と農業者をつなぐ仕組みを検討しているという事ですが、各委員のみなさまご意見はどうでしょうか。これまでのご意見と事務局側の説明で了承されたという事でよろしいですね。本日の協議事項（1）は以上でしょうか。

事務局：文言の修正が多いですが、観光では入っていなかった指標をいれております。指標や数値などに対して、ご意見を頂ければと思います。

田辺会長：商工業も含めてでしょうか。

事務局：含めてです。

田辺会長：事前に送って頂いて、検討している事だと思いますがユニティプラン（案）にご意見いかがでしょうか。これまでさまざまなご意見を頂き、加筆修正

して、図やグラフなど見やすくなったと私は思います。委員のみなさまのご意見など他にございますでしょうか。

委員：新たな観光資源の掘り起こしで、歴史・文化、スポーツ等の本市独自の観光資源を発掘・開発していくことが重要です(P47)」というところの歴史文化は何を指しているのか分からない。けれど、具体的におさんの森を調べなおしてみようと思う。私は春日町の出身ですが井原西鶴、近松、実在の人物をモデルに小説を書いている。川口松太郎（かわぐちまつたろう）もおさんの森の小説を書いている。封建時代に恋愛に命を懸けた男女がいたのが衝撃的で今でもおさんの女性としての逞しさ。ぜひ、もっと検証していくことが必要だと思っている。個人的な趣味ですが丹波市の文学を紹介するガイドみたいなものができてほしいと思っている。題材は豊富にある。協力する。歴史文化が具体的に何を指しているか明確にして欲しい。

事務局：歴史文化については、黒井城跡や柏原の陣屋跡などを想定しておりますが、具体的な物を何か例示できるように検討します。

委員：市の職員の方々も丹波市の歴史文化をしっかりと勉強して欲しい。市職員対象に講座を開くなどして欲しい。

田辺会長：市のこれからのプランとして歴史や文化、スポーツ分野で観光資源になるものを発掘開発していく、という事なのでここで具体的には挙げにくいと思います。開発の結果、出てくる事柄だと思います。発掘開発する具体策がまったく出てこない訳なので、例えば市民に対して丹波市に観光資源になるような歴史や文化の具体的な事例を市に申し出てもらうことも必要になってくるかと思っています。もっと新しい文学の素材が出てくるかもしれません。市としては発掘開発の具体的な施策を考えてもらった方が良いでしょう。それを講じて文学に取り上げられた純愛物語や、スポーツで功績を残した丹波人が居たという情報が集まってくれば具体的に観光に活用できます。

事務局：新たな観光資源の発掘ということについては、これから発掘していくこととなります。どのように発掘していくかを検討したいと思います。

田辺会長：昨日、ポートピアホテルの観光担当の方と仕事をしました。観光バスで丹波に行来すると観光担当者が最も感動したのが水分け公園です。丹波市民にはどうという事も無いと思う事も、他所から観光で来た人は住んでいる人とは反応が違うと思います。江戸時代に織田一族は煙たがられていたが、同じことが豊臣秀吉の一族にもありました。ねねの一族である岡山の足守藩主と、大分県の日出(ひじ)藩主は最後まで煙たがられていた。冷遇された藩の町と交流するなども良いと思います。例えば大分県の竹田市に岡城という城があります。滝廉太郎が荒城の月を作った城で、もしかすると兵庫県の竹田城よ

りすごいお城かもしれません。大成したのは中川という戦国大名の子孫で、最初は大阪の茨木から出た中川清秀だが賤ヶ岳の戦いで戦死します。秀吉は中川清秀に恩義を感じていました。三木城が落城した後、秀吉が三木城主になろうとしたが黒田官兵衛の助言で姫路城を播磨の中心にし、中川清秀の子どもを三木城の城主にしました。やがて三木は廃城になり、それを転機に大分の竹田の岡城主になり最後まで中川家が続きます。大阪府の茨木市と兵庫県三木市と大分県の竹田市は、いまだに城主繋がりです。柏原は織田氏や木下氏と関わりのある城下町だったところと連携してみることも良いと思います。具体的に丹波篠山市との連携の事が出ていたが、丹波篠山市以外にも甲子園であれば西宮市との交流ができます。いろいろな形を作っていけば、既存の歴史の観光資源化ではない事が出来るのではないかと思います。尼崎は近松門左衛門を一生懸命 PR していて、市役所の中に近松課があったほどです。ここで、いろいろな意見が出て、新しい追加が出てきましたが、市では具体的に進める案を考えて頂けたらと思います。他に意見はありますか。

委員：発信する広報が一番大事だと思う。子供が大学に入学し、大学の広報チームの動きがまったく別で、とてもお金をかけている。子供が所属する学部の学部長がプレステーションの父と言われている方で週一回の授業を YouTube で発信。広報部は学生の発表もすべて1時間の動画にしている、学生以外の方もみれる状態で発信、やり過ぎという感じに取れるくらい発信力がすごい。丹波市においても、様々な課の広報を担う広報戦略を考えるチームが出来たら凄いことになると思う。イベントも集客もすべて発信力なので検討して欲しい。丹波市総合計画の委員にも選ばれている。今回、総合計画は市民主導という事でテーマ別にワークショップをしていくと聞いている。観光も大事だが、地元の食べ物は地元で確保していかないと、農家の人が作ったものにお金を払って消費していくシステムを作り、丹波市内の自給自足、地産地消をやっていかないと大変だと思う。

田辺会長：地産地消も発信をしていかなければならないと思います。そう考えると、発信力は大事ですね。私はいまだにパソコンを使っていませんが、最近の発信テクノロジーは大事だと思っています。そういう事が出来そうな人を集めた特殊チームも考えてほしいと思います。須磨寺の副住職の小池陽人さんは法話を YouTube で流していて、反応が大きいです。2か月に1回は直接、お寺で法話に集まります。200人を超えていて、驚きました。従来の常識にない力が感じます。市役所の中でもそういう事を考える時期ではないのかと感じるところもあります。

事務局：行政も情報発信が苦手とするところを感じています。来年に向かって提案

できるように準備をしておりますので、情報発信をしっかりとしていきたい
とと思っているところです。

田辺会長：他にありませんでしょうか。なければ（２）その他の説明をお願いします。

事務局：基本的にはお手元の次第に沿って進めます。その他ですが、第５回の議事録の修正については後ほどメールなどご連絡頂ければと思います。続いて、ユニティプランのスケジュールを説明します。本日の会議後、市議会へユニティプラン（案）を報告します。その後、12月下旬から1月下旬の1か月間、パブリックコメントを実施します。パブリックコメント後のスケジュールについては、パブリックコメントの状況をみながら、各委員へご連絡いたします。よろしくお願いします。

8. 閉会

田辺会長：それでは閉会いたします。次回もよろしくお願いします。